

第1回 乳がん患者さんのおしゃべり交流会 活動報告

日時：4月27日（土曜日） 10時～12時

会場：長泉町 静岡県医療健康産業研究開発センター（ファルマバレーセンター）

3階会議室

タイムスケジュール

乳腺外科西村医師 講話：40分

自己紹介：30分

座談会：40分

参加者 21名、サポートメンバー7名、「ふじのくに」理事2名

乳がん患者さんご家族等の当事者と、医療者が共同するサポートグループの初めての交流会がようやく実現しました。患者さん達やその周りの方々・医療者など様々な立場の人が参加し、相互の親睦を図ることや乳がんに関する正しい知識を高めることを目的とした交流会。第1回目は、予想より多くの参加者さんが来てくださいました。

まずは、西村医師からNPO設立の経緯と静岡県における乳がんに関する現状などの講話がありました。皆さん、西村医師の熱い話に聞き入っている様子でした。その後は、サポートメンバーも含めて、円陣に座り自己紹介をしました。ご自身の治療経過や、今抱えている悩みや不安、どのような気持ちで今回参加したのか等、様々な内容の自己紹介がありました。座談会では、辛かった体験や不安な気持ちをどのように乗り越えたかなど、時には笑いあり涙あり思い思いに語られていました。「乳がんになってから、当たり前だった日常をありがたく感じるようになった。」「くよくよしていても仕方がないから、前向きに考えるようにしている。」など、聞いている皆さんはうなづいたり、相づちを打ったりと全員で共有する時間となりました。最後に、おしゃべり交流会の名称の投票を今回の参加者皆さんにお願いしました。5つの候補の中から1つを選んでいただき、次の交流会で発表予定です。皆さんから帰り際に、“このような会の開催を待っていた”、“ぜひ続けてほしい”といった声を複数いただきました。無事に初回の開催ができた喜びと共に、末永く続く交流会に皆でしていけるようにと気が引き締まりました。

文責：サポートメンバー代表 正木